

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和4年9月9日(2022.9.9)

【国際公開番号】WO2022/014571

【出願番号】特願2022-536375(P2022-536375)

【国際特許分類】

B 3 2 B 7/022(2019.01)

B 3 2 B 9/00(2006.01)

G 0 2 B 1/18(2015.01)

G 0 2 B 1/14(2015.01)

10

【F I】

B 3 2 B 7/022

B 3 2 B 9/00 A

G 0 2 B 1/18

G 0 2 B 1/14

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月3日(2022.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明基材と、ハードコート層と、無機酸化物下地層と、防汚層とをこの順で備え、前記防汚層が、前記無機酸化物下地層上に配置された、パーカルオロポリエーテル基含有アルコキシシラン化合物のドライコーティング膜であり、7 nm以上の厚さを有し、

前記防汚層における前記無機酸化物下地層とは反対側の表面の、ナノインデンテーション法により測定される25°での硬度(GPa)と弾性回復率との積が、0.8以上である、防汚層付き光学フィルム。

【請求項2】

前記防汚層の前記表面の、ナノインデンテーション法により測定される25°での弾性回復率が、0.76以上である、請求項1に記載の防汚層付き光学フィルム。

【請求項3】

前記防汚層が、25 nm以下の厚さを有する、請求項1または2に記載の防汚層付き光学フィルム。

【請求項4】

前記無機酸化物下地層が二酸化ケイ素を含む、請求項1から3のいずれか一つに記載の防汚層付き光学フィルム。

【請求項5】

前記無機酸化物下地層が、100 nm超の厚さを有する、請求項1から4のいずれか一つに記載の防汚層付き光学フィルム。

【請求項6】

前記ハードコート層が、1 μm以上50 μm以下の厚さを有する、請求項1から5のいずれか一つに記載の防汚層付き光学フィルム。

30

40

50